

倉敷平成病院は、倉敷市の中

心部に位置する病院である。

「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理

念のもと、運営されており、救

急のような急性期から、在宅に

代表される回復期、あるいは療

養型の医療機関としても機能し

ている。とりわけ岡山県下には

超急性期・急性期病院が多い中

で、幅広い患者層をカバーする

貴重な存在ともいえる。沿革は、

1988年に脳神経疾患専門病

院として開院しており、脳神経

疾患領域においては、予防医学

推進のため平成脳ドックセンターを開設したり、2009年には

は県西部初となる「3・0テス

ラMR」を導入するなど、常に

先進的な取り組みを心掛けている。

また、脳梗塞超急性期のt-PA

A治療など、脳卒中を代表とする脳神経疾患には、脳神経外科、

脳神経内科をはじめ、関連する

スタッフチームが24時間体制

で対応にあたっている。リハビ

リテーションの重要性にも早く

から着目し、急性期・回復期・

維持期、各ステージでのリハビ

リテーションの充実に努めてお

り、広々としたりハ室と充実し

たスタッフ数を有している。

2010年には「社会医療法

人」の認定を受けて二次救急と

しての機能を高めるとともに、

地域の基幹病院として機能する

センター構想を推進し、「倉敷

生活習慣病センター」、「総合

知症疾患医療センター」の指定

を受け、認知症患者とその家族

が住み慣れた地域で安心して暮

らせるように地域に根差した支

援を行っている。2017年には

「倉敷ニューロモデュレーションセンター」を開設し、異常

をきたした中枢および末梢の神

経機能を微弱な電気刺激により

調整・制御することで疾患や障

害の改善を図る治療を実施し、

全国でも有数の症例数となっ

いる。

また、全仁会グループでは、

倉敷老健、倉敷在宅総合ケアセ

ンター（訪問看護・訪問介護・

通所リハ・ショートステイなど

の複合施設）、ケアハウスなど

の在宅支援サービスを整備し、

住宅型老人ホーム、グループホ

ームや地域密着型特別養護老人

ホームを含む複合型介護施設、

サービス付き高齢者向住宅を開

設するなど、高齢者の安心で住

み良い暮らしを支える在宅支援

システムの構築にも努めている。

倉敷平成病院は創立30周年を迎

え、新救急病棟を建設するな

ど、更なる進化を遂げようとしている注目の病院である。

## 救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します

IT'S OUR  
WORKING  
STYLE #4

社会医療法人全仁会  
倉敷平成病院



病床数

220 床

一般

127 床

回復期リハビリ

91 床

人間ドック

2 床



男性2:女性8  
女性多め

薬剤師数

10 名

補助員

2 名



薬剤師平均年齢

30.7 歳

1日平均処方箋枚数

入院 76 枚  
外来 38 枚

救急受け入れ件数

233 件/年

“数值”de  
倉敷平成病院

文 = 藤雄 万里衣・神崎 浩孝 / 写真 = 神崎浩孝・倉敷平成病院提供



市川 大介 / Daisuke ICHIKAWA

倉敷平成病院・薬剤部・部長  
岡山大学卒/鳥取県出身

## 人を知り、 施設を知り、 薬剤師の明日を考える

### インタビュー 人 × 人

岡山市民病院・薬剤部・部長  
岡山県病院薬剤師会DI委員会

### 松山 哲史

県病薬でDIを担当して9年、優秀なスタッフに恵まれたおかげで一味違った視線から記事を作成。薬剤師でありながら病院の広報やHP作成に関わったことにより、薬剤師を外から見ることができた経験が今に生きています。チーム医療となった今、薬剤師ならではのマルチな能力を生かせる機会が増えたと実感している。

**松山** 新年度を迎えたが、新しい変化はありましたか？

**市川** 薬剤部は、この4月から新入職員2名（男性1名、女性1名）が加わり、薬剤師10名、調剤補助員2名になりました。現在は2名が育児休暇中のため実質増えたという感じではなく・・・また、薬剤師に期待されたり、求められたりしている仕事は増える一方ですので、実際には仕事量は増えていると実感しています。もちろん、職員のライフケンタは大事なことなわけで、大切に考えていますが、それ故、人員確保と人員体制の整備が課題ですね。

**松山** 人員の確保は大きな課題ですよね。業務体制というのはどのようにになっていますか？

**市川** 外来は院外処方箋を発行し、薬剤部全員で入院業務を中心に取り組んでいます。二次救急医療機関のため、土曜午後と日曜祝日は日直体制（連休時は2人体制）としていますが、夜間当直は行っていません。個々の部員が順番に日直業務を担当するため、部員全員が薬剤部業務全体の流れを理解する必要があります。ですので、新入職員も入職半年後から先輩と一緒に病棟業務や薬剤管理指導を担当して知識とスキルを磨き、日直業務も経験します。一人ひとりが、薬局中央業務と病棟業務、薬剤管理指導、チーム医療などの全業務を担当するのが当院のスタイルですね。みんなで切磋琢磨し合っているというのが、しっくりときますね。

**松山** 素晴らしいことですね。最近、「働き方改革」と世間では言われていますが、何か取組みをされていますか？

**市川** タイムカードの導入による残業管理や、1年目からのリフレッシュ休暇導入など、職員の勤務環境を改善する取り組みが行われています。薬剤部は人員体制が流動的で、他の職種と比べると休みなど

も少し取りにくい状況です。これはどこの施設でも同じかもしれません・・・個々の部員が、もっと働きやすい職場環境を整備したいと思っていますが、そのためにも人材の確保が最重要課題ですね。県病薬で人材バンクのようなものを作成して薬剤師を派遣してもらえるようになりますかね？（笑）

**松山** 新しいアイデアありがとうございます（笑）職場環境の整備において大事にされていることはありますか？

**市川** 私が一番大事にしているのは、モチベーションを維持しながら仕事を継続できる環境作りです。個々の興味がある領域を担当できるように、配置を工夫しています。新入職員でも、患者さんと関わりを持って仕事をしたいという希望とやる気をもっていますので、業務を縦割りにせず、全員で、調剤・注射の薬局中央業務と、病棟での業務を併任できるように業務を配分しています。チーム医療では、個々の薬剤師の目標や希望を聞き取り、一つのチームに複数薬剤師を配置し、できるだけ希望に沿ったチーム配属を心がけています。

**松山** そうですか。そういう意味では薬剤師を取り巻く環境も大きく変わってきましたね。

**市川** 私が倉敷平成病院に入職した時、薬剤師はわずか3人でした。薬剤管理指導や病棟薬剤業務をきっかけに少しずつ部員も増えました。病棟薬剤業務は、とにかくできることから開始しましたが、今では業務の種類も量も増えました。女性の多い職場なので、ライフケンタによる不規則な人員減が発生し、安定的な人員で運営することの難しさを実感しています。ようやく経験年数5年を超える部員や認定薬剤師も育ってきましたが、経験の浅い薬剤師も多く、薬剤部内での勉強会なども積極的に実施して対応しています。院内で活動しているチーム医療

に積極的に関わって、薬剤師がチーム医療によりレベルの高い活躍で達成感を感じることで、病院薬剤師という職業にやりがいを感じてほしいと考えています。他のスタッフに顔と名前を覚えてもらい、患者に合わせた用量調節、副作用チェック、認知・身体機能に合わせた患者対応など、薬剤部内だけでは学ぶことのできない急性期医療を病棟で経験し、病院薬剤師としてのスキルや考え方を充実させてほしいと思います。

**松山** 職員の専門性については何か工夫されていますか？

**市川** 当院では、入職3年後に取得できる「糖尿病療養指導士」の資格は全員が取得しています。これは、当院が診療科別病棟になっておらず、入職半年後に薬剤管理指導を開始することで、自動的に糖尿病患者の症例を積み重ねることができるという特性を利用したもので、資格は取得するだけでは無意味ですが、資格を持っていることで他の職種から信頼されることも多く、また、資格を取得することで自信をもって仕事に取り組むことができます。個人が成長することが薬剤部全体のレベルアップにつながり、薬剤部が個々のスキルアップに取り組む姿勢は、他の職種から薬剤部全体の信用をアップさせることに繋がります。将来的に、もっと幅広い領域で認定・専門薬剤師を育成したいと考えています。また、当院では毎年、院内研究発表大会が実施されています。日々の業務の中で行う一つひとつの取り組みや工夫について、薬剤部業務やチーム医療のレベルアップに繋がったことを成果として発表します。院内での取り組みを活用し、成果を外部での学会発表などに繋げることで、部員のレベルアップも図り、他の医療機関との交流も拡大して、新しい取り組みなどについて、タイミングで取り入れたいと考えています。



倉敷平成病院・薬剤部・部長

### 市川 大介

倉敷平成病院に勤務する前の10年間は、製薬会社で新薬研究に携わる。小学校からずっと野球をしていたが、ここ数年は四十肩と視力低下で現役を引退。趣味でランニングを始め、吉備路マラソン10kmに2年連続で出場。根っからの歴史漫画好き。最近ハマっている漫画は「キングダム」。



斎藤 文佳/ Ayaka SAITO

入職5年目。就実大学卒。岡山県矢掛町出身。趣味：旅行や温泉に行くこと。美味しいものを食べること。

## •日々の業務について教えてください

当院では調剤業務、病棟業務、チーム医療を全員で行っています。外来は院外処方のため調剤業務は入院患者の定期・臨時処方の調剤や注射調剤、老健施設の調剤を行っています。病棟業務では服薬指導や検査、配薬、無菌調製などを行っています。チーム医療ではASTラウンドへ関わっており、週に1回のラウンドと日々処方される抗菌薬が適正に使用されているかの確認やTDMなどを行っています。

## •薬剤師としてやりがいを感じることは?

やりがいは日々感じています。特に感じる瞬間は患者さんが退院するときに感謝の気持ちを言われた時です。当院では高齢の患者が多く、内服については施設や家族のサポートが必要な事

が多いためポリファーマシー状態の患者さんには内服の見直しをしたり、退院処方を渡す際には患者さんが自宅に帰っても飲み忘れや飲み間違いのないよう工夫をしています。

## •病院の特徴や入職してよかったです?

当院には倉敷ニューロモジュレーションセンター、認知症疾患医療センター、平成脳ドックセンター、総合美容センターなどさまざまなセンターがあります。薬剤師はいろいろな分野に携わっているため、他職種の方々とのコミュニケーションがとれたり、専門的なことが学べることが入職してよかったです。

## •日々の業務について教えてください

主に、一般病棟での病棟業務とチーム医療に携わっています。私が担当する病棟は脳梗塞や糖尿病、肺炎、パーキンソン病などの内科的な疾患を主な対象としています。DCTやNST、ニューロモジュレーションチーム、リスクマネジメントの一員として、充実した日々です。

## •薬剤師としてやりがいを感じることは?

糖尿病療養指導士やNST専門療法士などの資格も取得でき、薬剤以外の関連領域についても知識を深められたと感じています。また、他職種とのカンファレンスなどで提案できた時や患者さんから「薬剤師さんに相談してよかったです。」と言葉を頂いたときです。

## •病院の特徴や入職してよかったです?

様々な診療科を対象としているので、幅広く知識を深めることができます。部活動なども盛んで、マラソンやゴルフなど新しい趣味が増え、ゴルフやワイン会を通じて他職種や他業種の方とも接することができることですね。

## •現在取り組んでいることや興味・関心は?

先日、家族が他院に入院することがあり、他院のスタッフの業務の仕方や環境整備の工夫、食事などに興味を持ちました。他院を見学する機会があって、そのアイデア素敵だなと思ったら当院でも取り入れたいです。

## •今後の展望は?

仕事だけでなく私生活も充実させて行きたいです。分包紙の朝夕のラインの色を日本中統一したい(笑)



小田 真澄/ Masumi ODA

入職17年目。岡山大学卒。鳥取県米子市出身。趣味：ナンブレ、ドライブ、ゴルフ。院内ゴルフ部にも所属し年に数回コースをまわることもある。

## 倉敷平成病院



藤野 優菜/ Yuna FUJINO

入職5年目。就実大学卒。岡山県岡山市出身。最近ホットヨガに通い始めて体質改善中。頑張りすぎるとすぐのぼせてしまうのが悩み。メディカルアロマセラピスト資格取得を検討しており認知症や不眠症などの治療に役立てたいと考えている。

## •DI担当の日常業務について教えてください

DI担当は1名ですが、他の薬剤師と協働してDI業務を行っています。薬事委員会の資料の作成や毎月のDIニュースで緊急安全性情報や新規採用医薬品に関する通知、必要に応じ臨時のDIニュースやメール配信を行うこともあります。

## •DI担当のやりがいや倉敷平成病院の特徴を教えてください

医療従事者からの質問は、各病棟に担当薬剤師を配置しているため各薬剤師が対応することが多いです。ネットが普及して誰でも膨大なDI情報を入手できるようになっています。このよう

な中で、価値のある情報を選択し、いかに適切に活用するかが問われています。各薬剤師がDI業務を行うことで、各自の情報収集力が高められるため、それが当院の良いところかなと考えています。

## •DI担当としての先生のポリシーなどありますか?

病棟では誰しもDI情報を求められることがあると思います。薬剤師一人ひとりがDI担当という気持ちで、日々の業務を遂行することで、より質の高い医薬品情報と薬物治療を提供できると思っています。

## [必要時対応]

- 医薬品情報の管理
- 医療安全性情報の報告
- 各種問い合わせの対応  
(医療従事者からの質問、TDMの対応)
- 学生実習

This is my  
DI Style

— DI担当の横顔 —

## 薬剤師の顔

「みんなで切磋琢磨」「モチベーション維持とそのための職場環境作り」という市川薬剤部長のマネジメント・コンセプトを反映したような明るい職場環境。そんな倉敷平成病院・薬剤部を象徴するような楽しげなヒトコマを紹介します。

## 倉敷平成病院・薬剤部

## Now and Then

本田尚也先生  
(岡山大卒)平松真帆先生  
(京都薬科大卒)おまけ  
ワタシたちの制服

白衣+パンツ  
白衣の品格と機能を両立した定番スタイル。

## 倉敷平成病院のステキ習慣

これを知っておけばあなたも倉敷平成病院通!?

## 口角あげトレーニング

ニンニキニキニキ  
ニンニキニキニキ  
ニンニキニキニキ  
ウイスキー!!

倉敷平成病院薬剤部の壁にかかげられているこのワード。日々の業務中に忙しくても「笑顔は忘れないように」するために掲示したそうです。毎日の朝礼時に唱和しているとのこと。実際にやってみると自然と口角が上がり笑顔になりました。とても素敵な習慣ですね。

## “ワタシのプレアボイド”紹介

# 「プレアボイド」の可能態

● 日本病院薬剤師会が提唱する  
“薬学的介入事例”的総称

● アリストテレスによって語られている言葉で、可能性を秘めたもの（花に例えれば種子）から発展して現実的な結果としてあらわれたもの（花が咲いた状態）を指し示す概念

## 抗菌薬溶解液、補液の変更提案で血清Na, Cl高値に対処した事例

**患者背景**

- 87歳、男性、体重=34.6kg、身長=160.0cm、Ccr=25.7mL/min、主病名：重症肺炎、既往：2型糖尿病、胃癌術後（全摘）、COPD
- Na=165mmol/L、Cl=125mmol/mL、血糖値は102mg/dL（欠食中）
- 重症肺炎に対してメロペネム投与中
- 補液として乳酸リンゲル液を1日1000mL投与中→Na, Cl高値となる

**医師に対して抗菌薬溶解液と補液の変更を提案**

**Ph** (点滴内容と検査値を確認後、医師に電話) Na、Clが高値なので、メロペネム注の溶解液を生食100mLから5%ブドウ糖液に変更してはどうでしょうか？補液も乳酸リンゲル液から3号維持液に変更してはどうでしょうか。糖尿病が既往にありますが、今は欠食中で血糖値は問題ないと思います。

**Dr** その方がいいですね。わかりました。変更しましょう。ありがとうございます。

→ Na, Cl値は数日後に正常化し、1週間後には肺炎も改善した。

**処方変更によって高Na, 高Clに対応**

◆ここがポイント！薬剤師の思考◆

乳酸リンゲル液1L中には6gのNaClが含まれるが、3号維持液では1L中に1.75g。また、生食100mL中には0.9gのNaClが含まれる。既往に糖尿病があるが、欠食中で、血液検査での随時血糖が102mg/dLであったことからも糖分を含む補液への変更は問題ないと考えた。

**“ワタシのプレアボイド”**

日常業務の中で見つけたプレアボイド事例については部署内で情報共有しています。過去に同様の事例があった場合は、医師へ問い合わせがスムーズに行えるようになり、各薬剤における注意点や検査項目に関する意識が高まりました。



中田 早苗 / Sanae NAKADA

入職7年目。就実大学出身。岡山県岡山市出身。骨粗鬆症マネージャー取得。趣味：身体を動かす事と広いお風呂に入ること。人々の健康づくりとQOLの向上に広く関わっていく薬剤師になることが目標。

続きはWEBで

プレアボイド



ID/PWは日病薬誌、県病薬誌に記載しております

一步先行く薬剤師の  
“プレアボイドサロン”  
We are  
“プレアボイド”  
generation

件数の急速な増加によって  
無視することはできなくなってきた  
興味はあるけど  
今さら聞けないこともたくさん…  
そんなあなたに贈る  
プレアボイドのエッセンス

## そもそもプレアボイドって？

### プレアボイドとは？

「PREvent and AVOID the adverse drug reactions」の略称です。

病院薬剤師にとって、薬物療法の安全管理職能がわかる言葉として創られた造語です。「プレアボイド=副作用回避」との印象が強いと思われますが、より広く捉えて薬剤師が職能を發揮して発見した相互作用、投与禁忌などの未然回避や用量の是正、処方薬の追加提案など薬物療法の向上に寄与した事例もプレアボイドです。平成28年4月より、薬物治療効果の向上に寄与した事例を様式3として収集開始しました。（日病薬ホームページより抜粋）

## プレアボイドの動向

### 昨年度（2017年度）までを振り返って

昨年度（2017年度）の全国の報告件数は50,132件であり、2016年度の39,770件から大幅に件数を伸ばし、5万件台に突入したのは1999年（平成11年）のプレアボイド報告収集始まって以来のこと。日本病院薬剤師会は会員数44,343人であり、プレアボイド報告数が会員数を上回ったのも初めてのことである（日病薬誌、2018、2月号より）。

この5万件突破の立役者となったのが「岡山県」である。岡山県は報告件数7,743件で全国トップ、第2位の岐阜県よりも3,000件近く多い報告件数となった。

## 書き方のヒント

「プレアボイドに関する悩み事」を調査してみると、「これはプレアボイドなのかどうかわからない」といった悩みが多いことわかりました。プレアボイドの線引きを日病薬のQ&Aを基におさらいしておきます。

Q: 薬剤管理指導業務中に注射薬の配合変化、安定性、投与方法などに問題がある処方に気付き、処方変更（修正）を依頼した事例は？

A: 対象です。調剤時に発見できないものもフェイルセーフという観点では重要な職能です。

Q: 薬の変更はないが、ノンアドヒアランスの患者に服薬の意義、重要性を説明し、アドヒアランスが向上した結果、治療効果の改善につながった事例は？

A: 対象です。アドヒアランスの向上により治療効果が改善されることは薬学的指導の重要なポイントの一つと考えられます。また、残薬の軽減にもつながります。

★提案のない事例（単なる疑義照会）や薬学的介入を行っていない事例以外は全て報告OKです！★